

令和7年2月3日

「創意と活力」のある学校づくり推進事業報告書

春日井市立松原小学校

校長 新山 明子

|                            |   |               |
|----------------------------|---|---------------|
| 事業テーマ                      | あたま・こころ・からだを鍛え、自他を大切にしながら生きる<br>松原っ子の育成   |               |
| 取組の目的                      | ○1人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現<br>○子どものソーシャルスキルと自己肯定感の涵養<br>○子どもの総合的な体力の向上と健康の保持増進   |               |
| 区分<br>(○印を付ける)             | 新規事業・継続事業（総事業年数 年間、年目）  |               |
| 継続事業の場合、昨年度の課題を踏まえて対応した内容  |   |               |
| 事業名                        | 事業内容  | 実施時期          |
| 1人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「端末」「対話」「見方・考え方」「主体的」をキーワードに、日常的な授業改善と外部講師による授業参観・指導助言等を通して、1人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現をめざした。</li> <li>リーディングDXスクール協力校として、取組の成果を外部に公開した。</li> <li>外部講師の指導助言を受けながら全校SST「にっこりタイム」を実施し、子どものソーシャルスキルと自己肯定感の涵養をめざした。また、アンケートをもとに児童の変容をとらえ、取組の改善を図った。</li> <li>折り返し運動の充実と、外部講師による示範授業や講演会等を通して、児童の総合的な体力の向上と運動に親しむ態度の涵養を図った。</li> </ul> | 指導助言<br>：年間3回 |
| 子どものソーシャルスキルと自己肯定感の涵養      |   | 指導助言<br>：年間2回 |
| 子どもの総合的な体力の向上と健康の保持増進      |   | 指導助言<br>：年間1回 |

|   |   |    |
|---|---|----|
| 市外先進校への視察   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部講師による示範授業や講演会を市内他校へ公開した。</li> <li>・ フッ化物洗口を推進し、成果を他校へ発信した。</li> <li>・ テーマに関連する先進校を視察した。</li> </ul> | 適宜 |
| <p>取組の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「端末」「対話」「見方・考え方」「主体的」に関連する教員の理解が進み、研究授業や日常授業における実践化がよりいっそう進んだ。</li> <li>・ 児童自らが学習方法や学習形態、学習進度、難易度等を選択し、振り返りながら学習を改善する授業（主体的な学び）が主に中学年以上で見られるようになった。</li> <li>・ 全校 SST「にっこりタイム」やフッ化物洗口の取り組みが定着した。</li> <li>・ 「にっこりタイムを行うことで友達と仲良くなれる」と実感する児童が増加した。※1</li> <li>・ 「しかけ」を生かした体育授業づくりに対する教員の理解が進んだ。</li> <li>・ 「しかけ」を生かして体育の授業を実践しようとする教員が見られるようになった。</li> <li>・ 児童の「友達と関わる力」や「情報活用能力」が高まった。※1</li> </ul> <p>※1：児童を対象としたアンケートや研究授業及び日常授業の様子等から判断</p> |   |    |
| <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりいっそう子どもたちの自己肯定感や友達と関わる力を高められるよう、全校 SST「にっこりタイム」の継続実施と学級・学年による取組の充実。</li> <li>・ 子どもたちが「自分らしく学ぶ」ための機会として、総合的な学習の時間における「個人探究学習」の充実。</li> <li>・ 「しかけ」を生かした体育授業の実践と校内での共有。</li> </ul>   |   |    |